



～新年あけましておめでとうございます～

保護者の皆様、地域の皆様におかれましては、清々しい新年を迎えられたことと存じます。比較のおだやかな天候の冬休み、お正月の中で、大きな事件等に巻き込まれることもなく、無事に3学期を迎えることが出来ましたこと、ひとえに保護者・地域の皆様をはじめ、関係諸機関の方々の見守りのおかげと感謝申し上げます。

1月10日の始業式での学校長の話では、東日本大震災を経験した宮城県南三陸町の成人式のお話がありました。新成人となった若者のことばに、「自分一人ひとりが社会の一員としての責任と自覚を持ち、復興に向けて頑張っていく」という力強い宣言があったことを子どもたちに伝え、年齢がいくつであっても、自分にできることは何か、今何をするべきかを考え、行動していきましょうとのお話がありました。

今年は酉（とり）年です。とりは太古より私たちに「時を報せる」生き物とされてきました。お正月に今年はこんな年にしようとかだれもが考えたことでしょうか。何年か前に「いつやるの?」「今でしょ!」という流行語がありましたが、その目標に向かってとりかかるのはまさに今、すぐ行動に移せるような一年にしたいものです。

平成29年が皆様にとって良い年となりますようお祈り申し上げます。南小でも教職員一同、力を合わせて、より良い教育活動の推進に励んでまいります。皆様の一層のご理解・ご支援をよろしくお願いいたします

さわやかあいさつ運動 ありがとうございました!

3学期の初日（1月10日（火））亀山市自治会連合会の「さわやかあいさつ運動」が行われました。校区の自治会長さんが初日の登校を迎えていただきました。通学団の集合場所等では青少年総合支援センター（青パト）の方にもご指導をいただきました。昨年子どもたちのあいさつは南小の課題の一つです。とてもすてきなあいさつができる人が増えてきた半面、元気な声だけでなく、相手の顔を見てあいさつする、自分からあいさつするなどの課題がある子どももまだまだあります。

先月お願いした学校評価アンケートでは、子どものあいさつへの評価として保護者、教職員の評価は高くなったものの、地域の方の評価は下がっています。知っている人にはあいさつができるようになってきていますが、新たに出会う人や普段話したりすることの少ない人には、あいさつが十分にできていないという結果だろうと思います。

ひきつづきあいさつへの指導を行っていきたくと思いますので、家庭・地域からのご指導もよろしくお願いいたします。

なお、10日の登校時だけでなく、青少年総合支援センター（青パト）、登下校の見守り隊のみなさんには、いつもお世話になり、重ねてお礼申し上げますとともに今後ともよろしくお願いいたします。

百人一首大会迫る! 1月21日（土）



1月11日のなかよし集会ではなかよし班別に百人一首の練習を行いました。10日後に迫った本番を前に低学年はまだまだ不慣れなところがありますが、練習にもだんだん熱が入ってきたようです。

寒さが本格的になってきました。当日は座布団などのご用意についてもご協力お願いいたします。



宿題テストの結果はいかが?

三学期の初日、各学年で冬休みの宿題確認テストを行いました。行事ごとの多い冬休み中ではありましたが、長期休業はこれまでの学習の復習に取り組む重要な期間でもあります。せっかくの復習が、どの程度定着しているか、その確認としてのテストを行いました。

各学年の基礎基本となる内容でのテストでしたので、それがどの程度身につけているか、テスト結果はご家庭でもご確認いただければと思います。



